



Connecting Care, Saving Lives.

地域連携情報誌

vol.62
2026年9月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の
健康を支え、頼られる病院であり続けます



診療部 救急科 医長

藤浪 好寿

平素より当院救急科の診療に多大なるご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

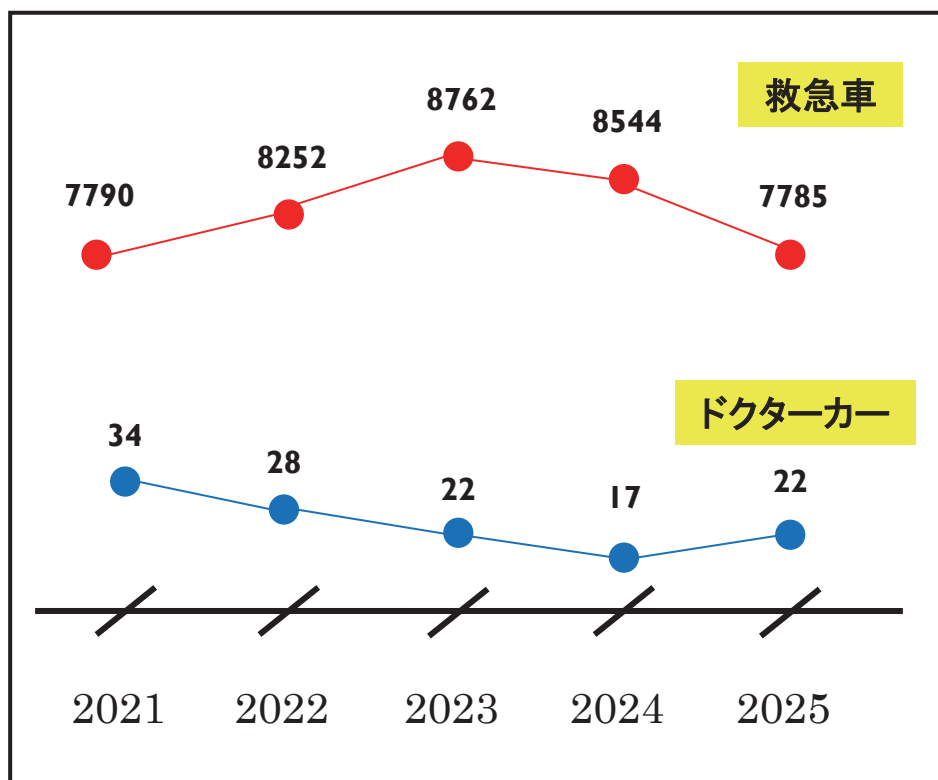
さて加古川中央市民病院は34診療科600床を擁する急性期病院です。加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の約41万人の医療圏人口の救急医療を实践できる体制が求められます。

当院の救急外来（1階）は、初療処置室3室（多忙時4室）、診察室4室、観察ベッド9床、麻疹・風疹・インフルエンザ・結核・COVID-19などの感染症対応診察室3室、そしてシャワー洗浄室から構成されています。救急傷病者をスムーズに診療できるように、救急外来に隣接してCT検査室3室、単純X線検査室1室、MRI検査室3室、血管造影検査室3室が配置されています。

平日昼間帯は、6～8名（+新人2～4名）の救急外来看護師と病院救急救命士3～5名、加古川市消防本部からの研修救急救命士2名が勤務します。救急科スタッフ1～3名が救急外来に常駐し、さらに循環器内科、小児科をはじめ各科救急担当医が、各専門科のバックアップ下に救急診療を行っています。夜間・休日は、5～6名の救急外来看護師と病院救急救命士1名、内科、循環器内科、小児科、歯科口腔外科、産婦人科の当直医らが、各専門科のバックアップ下に救急診療を行っています。

救急科は現在、救急科指導医2名、救急科専門医4名（うち1名は育休中）が在籍し、内科専攻医1～2名、臨床研修医4～6名が月替わりで配属されます。業務内容は、平日・休日昼間帯の救急車対応、救急科入院患者の管理（基準8床）を行っています。対応する疾患は年齢や重症度を問わず、ひとりでも多くの患者さんに対応できるようスピーディに診断し、スムーズに適切な診療科へ引き継ぐことを心がけています。分類不能な内科疾患や敗血症、外傷・動物咬傷や中毒、熱中症や低体温症、心停止蘇生後などは外来診療から続いて救急科が入院診療も行っています。

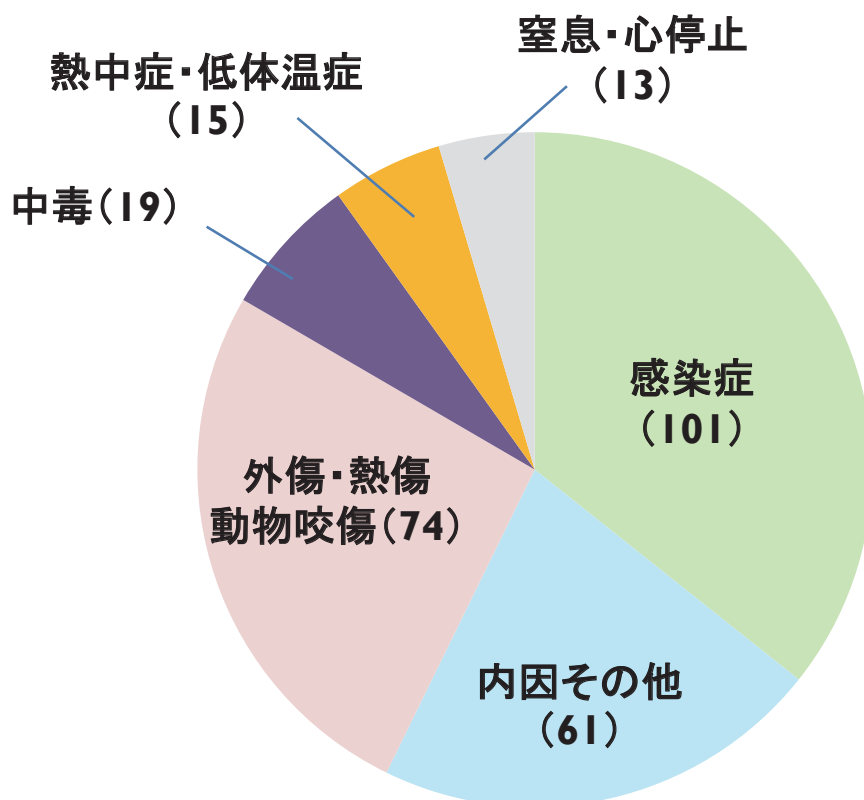
① 救急診療実績 外来(救急車・ドクターカー・ドクターヘリ)



当院は過去5年では年間約8,000件の救急車搬入に応需し、直接外来受診（ウォークイン）患者もあわせると年間約15,000件の救急外来診療を行っています。加古川市内の救急車運用状況からみると、2025年度の加古川市消防本部救急車出動は18,827件で、出動件数の30.8%にあたる5,796件が当院に搬入されており、当院の救急車受入れ7,785例（2025年度）の約75%が加古川市消防本部救急車からでした。

2016年7月の新設統合後からはドクターカー現場出動傷病者とドクターヘリ搬入傷病者の受入れ拡充にも尽力してきました。ドクターカーは平日昼間帯に運用しており、運用開始時より加古川市消防本部から研修（ワークステーション）救急救命士の協力を得ておりましたが、病院救急救命士の増員により、現在は病院救急救命士のみでの運用が可能となりました。出動基準を主に胸痛・背部痛・アナフィラキシーなどのキーワード方式としており、2025年の現場出動件数は22件でした。





2025年度救急科入院283例の内訳

2025年度、救急科はドクターカー出動、ドクターヘリ搬入も含む救急搬入2,057例、直接来院を含めて総2,237例の初療にかかわりました。うち1,090例（48.7%）が帰宅となり、入院は949例（42.4%）で、うち283例（29.8%）が救急科入院となりました。また、同日の転院は127例（5.7%）あり、これは救急診療における国策により、急性期病床の有効活用を目的とし、救急受診同日（翌々日まで）の転院搬送（救急連携搬送）が推進されていることを反映しています。当院でも急性期病床を確保すべく積極的に救急連携搬送を実施しています（2024年度184件、2025年度230件）。病態の不安定な急性期患者をひとりでも多く当院で対応するため、比較的病態の安定している患者さんには、急な転院をお願いすることになります。地域レベルでの急性期診療を維持するため、ご協力いただけますと幸いです。



③ その他取り組み

(ICU管理・病院フェスタ・災害派遣・学術活動)



当院は各科が主治医としてICU診療も行いますが、ICUにおける全身管理にはリハビリテーション部セラピスト・栄養士・薬剤師・歯科医師・歯科衛生士など多職種が関与します。救急科は集中治療専門医を3人擁しており、より質の高いICU管理に貢献すべく、多職種連携のハブとして各種回診などに関わっています。

また、救急科は救急医療以外に学術活動として、全国学会で発表および論文執筆も行っております。また、災害医療やイベント医療参画にも力を入れています。災害に備え、毎年、医療チームを組んで兵庫県総合防災訓練、加古川市総合防災訓練、院内集団災害訓練に積極的に参加しています。2023年にDMATが発足し、災害拠点病院に指定されました。令和6年能登半島地震では現地へ赴き活動しました。また令和8年熊本地震においても要請に応じてDMAT隊を派遣しております。各種イベントの医療に関しては、加古川医師会の依頼を受け医療班として参加しています。

今後とも、引き続き、当院へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

新入職医師・退職医師のお知らせ



<入職>2026年8月1日付

所 属	氏 名	役 職 名
麻酔科	上村 圭広	

これからよろしくお願いいたします。

<退職>2026年7月末付

所 属	氏 名	役 職 名
麻酔科	木ノ下 直央子	

皆様には大変お世話になりました。

FAXの誤送信防止のためにご協力をお願いします

1. 当院へ送信される前にFAX番号を再度ご確認ください。
2. FAX機に短縮ダイヤル機能がありましたら、当院の番号を登録いただければ幸いです。



登録医のご案内

当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は350名を超える地域の先生方に登録していただいております。

医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に答えていきたいと考えておりますので、ご登録でない先生方におかれましては、ご検討いただけましたら幸いです。なお、当院ホームページにも登録医一覧を掲載させていただいております。

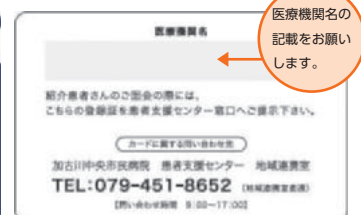
登録医の先生方には、

- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書の閲覧、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

患者面会のご案内

当院への来院時の流れ（ご紹介患者の面会）

- 1) 平日時間内であれば、患者支援センターにある入院支援窓口にお越しください。休日・時間外であれば、総合案内または時間外受付にお越しください。
 - 2) 窓口にて上記の開放病床登録医登録証の提示をお願いします。
 - 3) 病室に入られる際には、ご持参いただいた登録証を面会カードに入れていただきます。
- ※スムーズにご案内するためにも事前に当院への来院が予定されている場合には、地域連携室に連絡をお願いします。患者さんへの面会は、当院の面会手順にそって対応します。ご面会できない場合もありますのでご了承ください。



医療機関名の記載をお願いします。

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

天野内科クリニック

診療科：内科／糖尿病内科／リウマチ科

当クリニックは2002年の開業以来、地域の皆様の健康を支えるかかりつけ医として、内科診療を中心に幅広い医療を提供してまいりました。2025年4月からはリウマチ専門医である副院長が加わり、2診体制で診療を行っております。

高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病をはじめ、関節リウマチや膠原病などの専門的診療にも対応しております。関節痛や自己免疫疾患が疑われる患者様、診断や治療方針にお悩みの患者様のご紹介も積極的に受け入れております。また、上部消化管内視鏡検査や骨密度検査にも力を入れ、消化器疾患や骨粗鬆症の早期発見・早期治療に努めています。専門的な検査や入院加療が必要な場合には、地域の医療機関と連携し、患者様に適切な医療を受けていただけるよう努めております。これからも地域のかかりつけ医として、患者様に安心して受診していただける医療を提供するとともに、地域の医療機関との連携を大切にしながら、地域医療の発展に貢献してまいりたいと考えております。

所在地：加古川市神野町西条429-1

駐車場：15台

TEL. 079-438-6007



院長 天野 和彦 先生



副院長 天野 典彦 先生

HPは
こちら
➡



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
16:00~18:30	○	—	○	—	○	—	—

午前診：9:00~12:00 午後診：16:00~18:30

休診日：火曜午後・木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

ササモト整形外科

診療科：整形外科／リハビリテーション科

当院は「みんなの笑顔をつなぐ医療」を理念に掲げ、地域の皆様がいつまでも自分らしく生活できるよう、一人ひとりに寄り添った診療を心がけています。首・肩・腰・膝の痛みやしびれ、骨折・捻挫などの外傷、スポーツ障害、骨粗鬆症まで幅広く対応し、レントゲンや超音波（エコー）検査を活用した正確な診断と、わかりやすい説明を大切にしています。また、超音波ガイド下での注射治療や理学療法士による運動器リハビリテーションを通じて、痛みの改善だけでなく、再発予防や身体機能の回復まで見据えた医療を提供しています。患者様とご家族はもちろん、地域の医療・介護・教育機関との連携を大切に、安心して相談・紹介していただける身近な整形外科を目指しています。これからも地域医療の一員として、皆様の健康と笑顔を支えてまいります。

所在地：高砂市伊保2丁目2-16

駐車場：30台

TEL. 079-447-0129



院長 佐々本 博 先生



副院長 佐々本 丈嗣 先生

HPは
こちら
➡



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:40~12:00	○	○	○	○	○	○	—
16:10~18:30	○	○	○	—	○	—	—

午前診：8:40~12:00 午後診：16:10~18:30

休診日：木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

地域連携会議開催の御礼

2026年7月2日（木）に加古川プラザホテルにて「地域連携会議」を開催いたしました。今年の開院10周年を迎える地域連携会議ということで、昨年を超える多くの方にご参加いただきましたことを改めて御礼申し上げます。

第1部の講演会では、神戸大学医学部附属病院院長の黒田 良祐様による「神戸大学医学部附属病院の現在地 -課題を力に、未来を創る-」という演題で、ご講演いただきました。参加された方からは、「すごく前向きに改革を進めておられることを知ることができ、力をいただきました。」「DXの内容もあり、大変有意義な時間となりました。」「人材確保の点で参考になった。」などの感想をいただきました。

第2部の懇親会では、普段電話だけやお会いできない方と顔の見える交流の機会として、大変盛り上がりました。「市民病院の先生との交流だけではなく、これまで面識がなかった開業医の先生ともお話ができた。」「今まで関わりを持つことが難しい方とお話することができた。」「様々な施設の方と顔を合わせてお話ができたことが良かった。」といった感想もいただき、当院職員にとってもたいへん貴重な機会となりました。

今後も地域医療に貢献できるように様々な取り組みを行って参ります。

<第1部>



<第2部>

